

神経内科

北野病院神経内科は日本神経学会認定教育施設であり、精神疾患を除くすべての中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患の診療を行っている。脳血管障害、急性意識障害については脳神経外科と共同で脳卒中センターを構成し、神経専門医が24時間体制で脳卒中患者の診断・治療を行っている。放射線科の協力により緊急患者に対しては夜間や休日でも頭部MRIが撮影できる体制があり、急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法(t-PA治療)も適応を厳密に判断した上でを行っている。またパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、重症筋無力症などの神経難病患者の受診数が関西で最も多い施設であり、パーキンソン病については薬物療法に加え脳神経外科と共同で手術的治療（定位脳手術：視床下核脳深部刺激術など）を行い良好な成績を得ている。重症筋無力症については胸部外科と協力して手術適応例について胸腺・胸腺腫摘出術を行っており、周術期の薬物治療を神経内科が担当し良好な成績を得ている。さらに認知症、てんかんの診断、治療、末梢神経疾患(CIDP など)に対するγグロブリン療法など多岐にわたる神経疾患の治療で効果を上げている。教育啓蒙活動としては、毎年春には平野朝雄教授の神経病理セミナー、冬には松本部長のビデオセミナーを開催している。医学研究所では神経変性疾患の分子病理学的研究やパーキンソン病培養細胞モデルを用いた神経科学的研究を行っている。

体制

部長

松本禎之

専門：神経内科全般

資格等：京都大学医学博士、京都大学臨床教授（神経内科学）、関西医科大学臨床教授（神経内科学）、日本神経学会評議員、日本神経病理学会評議員、日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医

副部長

近藤誉之

専門：神経免疫学，臨床神経学

資格等：日本内科学会認定医，日本神経学会専門医，日本認知症学会専門医
医薬品医療機器総合機構専門委員，京都大学臨床准教授，日本神経免疫学会評議員

副部長

里井斉

専門：神経内科全般

資格等：日本神経学会専門医，日本脳卒中学会専門医，日本内科学会認定医

副部長

斎木英資

専門：パーキンソン病、パーキンソン病の定位脳手術

資格等：日本神経学会専門医、日本内科学会認定医

副部長

尾崎彰彦

専門：神経内科全般，脳梗塞の再発予防の指導，認知症診断，パーキンソン病の

薬物治療、若年者の片頭痛
資格等： 京都大学医学博士、日本神経学会専門医、日本内科学会認定医、
日本内科学会専門医

副部長

高橋牧郎

専門： 神経内科、内科、老年科全般、アルツハイマー病、パーキンソン病
資格等： 京都大学医学博士、日本神経学会専門医、日本内科学会認定医
日本内科学会専門医、指導医、日本老年学会専門医、指導医
米国 Mayo Clinic Smith Fellow Scholarship

レジデント 永田理絵

資格等： 日本内科学会認定医

レジデント 宮原淳一

レジデント 朝山知子

資格等： 日本内科学会認定医

レジデント 雑賀玲子

レジデント 永井之暢

診療実績

主要神経疾患	年間入院患者数	平均在院日数
脳梗塞	280	21.5
パーキンソン病／症候群	192	24.6
運動ニューロン疾患	37	14.2
脊髄小脳変性症	25	12.4
重症筋無力症	29	18.9
多発性硬化症	67	20.0
認知症疾患	96	11.3

研究課題：

パーキンソン病に対する STN-DBS の適応判定手法に関する検討（斎木英資）

非 AIDS のクリプトコッカス髄膜炎に併発する脳梗塞症例の検討（尾崎彰彦）

神経変性疾患脳におけるタウ、シヌクレイン新規リン酸化キナーゼの同定と蛋白蓄積機構の解明（高橋牧郎，科研費研究課題）

早期アルツハイマー病に対する β アミロイドモノクローナル抗体療法治験による臨床的効果の解析、検討（高橋牧郎・松本禎之）

I123-MIBG 心筋シンチグラフィによるパーキンソン病とその類縁疾患鑑別への有用性の検討（高橋牧郎）

研究実績

学会・研究会発表、講演講演

1. Saiki, H. Toda, M. Yamanegi, R. Nagata, A. Ozaki, M. Takahashi, H. Hayashi, N. Nishida, K. Ueda, J. Takahashi, S. Matsumoto Impulse control disorder in STN-DBS cases in PD patients The Movement Disorder Society's the 13th International Congress 2009/06/09 Paris, France

2. Matsuya N, Komori M, Nomura K, Matsuo H, Kondo T. Increased T cell immunity against aquaporin-4 in neuromyelitis optica. 25th Congress of the European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS), Düsseldorf, Germany, , 2009.
3. Komori M, Matsuyama Y, Nirasawa T, Thiele H, Saida T, Tanaka M, Tomimoto H, Takahashi R, Tashiro K, Ikegawa M, Kondo T. [Cerebrospinal fluid proteome profiles of patients with multiple sclerosis](#) 25th Congress of the European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS) , Düsseldorf, Germany, 2009.
4. Ikegawa M, Toshikazu M, Yamazaki Y, Ito N, Komori M, Kondo T and Fukazawa H. Multiprotein Complexes in Serum Proteomics by 2D BN/SDS Gel Electrophoresis. The 8th HUP0 World Congress, Canada Toront, 2009.
5. Komori M, Matsuyama Y, Nirasawa T, Thiele H, Saida T, Tanaka M, Tomimoto H, Takahashi R, Tashiro K, Kondo T and Ikegawa M. Diagnostic Cerebrospinal Fluid Proteome Profiling for Multiple Sclerosis. The 8th HUP0 World Congress, Canada Toront, 2009.
6. Komori M, Ikegawa M, Kondo T. Proteomics of MS and NMO. The 2nd Pan-Asian Committee on Treatment and Research in Multiple Sclerosis (PACTRIMS), Hong Kong, China, 2009.
7. 斎木英資、永田理絵、山根木美貴、尾崎彰彦、高橋牧郎、西田南海子、戸田弘紀、高橋潤、上田敬太、山岸 洋、松本禎之 視床下核脳深部刺激術における衝動制御障害の検討 第48回日本定位・機能神経外科学会 2009/01/24
8. 斎木英資、戸田弘記、永田理絵、山根木美貴、西田南海子、林 英樹、上田敬太、松本禎之、高橋 潤 当院でのパーキンソン病に対する視床下核脳深部刺激療法における衝動制御障害例に関する検討 第21回北野病院研究所セミナー 2009/02/10
9. 斎木英資 DBS 治療 update -内科的立場から- 脳深部刺激療法 (DBS) 座談会 2009/02/25
10. 斎木英資 STN-DBS と精神症状 パーキンソン病シンポジウム高松 2009 2009/03/07
11. 斎木英資 パーキンソン病の DBS 治療と認知・精神症状 徳島パーキンソン病エキスパートミーティング 2009/04/08
12. 斎木英資 脳深部刺激術 (DBS) の可能性 -目からウロコの DBS 講座- 全国パーキンソン病友の会大阪府支部講演会 2009/04/29
13. 斎木英資 脳深部刺激術 (DBS) の可能性 パーキンソン病フォーラム 全国パーキンソン病友の会東京都支部 2009/05/07
14. 斎木英資、永田理絵、山根木美貴、林 英樹、西田南海子、戸田弘紀、高橋 潤、上田敬太、尾崎彰彦、高橋牧郎、松本禎之 パーキンソン病に対する STN-DBS の適応判定手法に関する検討 第50回日本神経学会総会 2009/05/20
15. 永田理絵、斎木英資、山根木美貴、林 英樹、西田南海子、戸田弘紀、高橋 潤、上田敬太、小松研一、尾崎彰彦、高橋牧郎、松本禎之 パーキンソン病に対する STN-DBS 後の幻覚妄想に関する検討 第50回日本神経学会総会 2009/05/20
16. 山根木美貴、斎木英資、永田理絵、林 英樹、西田南海子、戸田弘紀、高橋 潤、上田敬太、尾崎彰彦、高橋牧郎、松本禎之 病的賭博を有するパーキンソン病患者に対する STN-DBS の検討 第50回日本神経学会総会 2009/05/20
17. 斎木英資 神経内科 ～最近の治療と進歩・最近の話題～ 守口市医師会学術講演会 2009-06-17
18. 斎木英資 今日のパーキンソン病治療 ～内服治療と外科治療～ 吹田市医師会臨床医学談話会 2009/06/24
19. 斎木英資 パーキンソン病に対する視床下核脳深部刺激術 第8回釧路ニューロサイエンスワークショップ 2009/07/03

20. 斎木英資 パーキンソン病の最近の知見と薬物療法 第1回滋賀県北部神経疾患アカデミー 2009/07/17
21. 斎木 英資 病的賭博を有するパーキンソン病患者に対する STN-DBS の検討 第24回日本大脳基底核研究会 2009/08/01
22. 斎木英資、永田理絵、山根木美貴、戸田 弘紀、林 英樹、西田南海子、藤本心祐、高橋潤、松本 禎之 STN-DBS 目的紹介パーキンソン病患者の適応評価結果に関する検討 第3回 Movement Disorder Society, Japan 学術集会 2009/10/09
23. 斎木英資、横地房子、藤本健一、馬場康彦 パーキンソン病に対する STN-DBS の客観的評価手法に関する多施設検討 第3回 Movement Disorder Society, Japan 学術集会 2009/10/09
24. 永田理絵、斎木英資、川村真弓、戸田弘紀、山根木美貴、林 英樹、西田南海子、藤本心祐、高橋 潤、松本禎之 病的賭博と病的過食を有するパーキンソン病患者に対する STN-DBS の1例 第3回 Movement Disorder Society, Japan 学術集会 2009/10/09
25. 斎木英資 パーキンソン病治療の最前線 ～DBS と薬物治療～ GSK PD Expert Meeting 2009/10/14
26. 斎木英資 パーキンソン病治療の最前線 ～薬物治療と DBS～ パーキンソン病診療エキスパートミーティング 2009/10/21
27. 斎木英資 パーキンソン病の精神症状と DBS 第二回東北ニューロモジュレーション研究会 2009/10/30
28. 斎木英資 パーキンソン病の外科治療における最新の取り組み 阪神パーキンソン病治療検討会 2009/11/05
29. 斎木 英資 目からウロコの DBS 講座 パーキンソン病を考えるシンポジウム 2009/11/14
30. 斎木英資 紹介元医師と DBS センター医師間のコミュニケーション 第三回 DBS 治療検討会 2009/11/28
31. 斎木英資 視床下核脳深部刺激術適応基準の多施設共同検討 第38回 OSK 2009/12/12
32. 斎木英資 パーキンソン病の長期治療 -DBS と薬剤を包含した治療戦略の試み- 第49回日本定位・機能神経外科学会 2010/1/23
33. 斎木英資 パーキンソン病の診断・治療・病診連携 大阪府保険医協会講演 2010/02/25
34. 松屋合敏、小森美華、野村恭一、松尾秀徳、近藤誉之：視神経脊髄炎におけるアクアポリン4に対するT細胞性免疫応答. 第50回日本神経学会総会 2009/5/20-22 (仙台)
35. 小森美華、松山由美子、菰澤崇、斎田孝彦、田中正美、田代 啓、富本秀和、高橋良輔、池川雅哉、近藤誉之：長脊髓病変を持つMS/NMOは抗アクアポリン4抗体有無に関わらず病態を共有する. 第50回日本神経学会総会 2009/5/20-22 (仙台)
36. 小森美華、高橋良輔、近藤誉之、池川雅哉、田代 啓：ClinProt システムを用いた多発性硬化症の脳脊髄液中バイオマーカー探索. 第5回プロテオミクス・構造生物学講演会 2009/11/2-3 (東京)
37. 池川雅哉、小森美華、近藤誉之：多発性硬化症をはじめとする中枢神経性脱髄疾患の臨床プロテオーム解析. 第34回日本医用マススペクトル学会年会シンポジウム 2009/9/10-11 (大阪)
38. 尾崎彰彦、永井之暢、雑賀玲子、朝山知子、宮原淳一、永田理絵、高橋牧郎、斎木英資、近藤誉之、里井 斉、松本禎之 葉酸低下を伴う認知症例の検討 第50回日本神経学会総会 2009/5/20

論文 Review

1. Kinoshita M, Hitomi T, Matsuhashi M, Nakagawa T, Nagamine T, Sawada H, Saiki H, Shibasaki H, Takahashi R, Ikeda A. How does voluntary movement stop resting tremor? Clin Neurophysiol. 2010, [Epub ahead of print]
2. Kawach I and Kondo T. T lymphocytes: Helpers. Encyclopedia of Life Science 2009, Published Onli
3. 齋木英資 歩行障害の診方とパーキンソン病の診断 大阪府内科医会会誌 2009, 18(1):34-44
4. 齋木英資 パーキンソン病診断のコツと Pitfall 進行性核上性麻痺 Frontiers in Parkinson Disease 2009, 3(2):94-9
5. 小森美華、近藤誉之、田中正美:多発性硬化症におけるミトキサントロン治療. Brain and nerve 2009, 61(5): 575-580
6. 小森美華、池川雅哉、近藤誉之: 多発性硬化症とプロテオミクス. 神経免疫学 2009, 17(2):185-191
7. 米倉由利子、近藤誉之、塚本達雄、松本禎之、武曾恵理: [アフェレシスと希少疾患] CrowpFukase 症候群. 日本アフェレシス学会誌 2009, 29(1):135-139
8. 近藤智善、三井良之、金子鋭、尾崎彰彦、松下達生. 臨床医からみたパーキンソン病治療の現状と期待. Pharma Medica 2009, 27(9):65-70

著作物

英文著作

1. Kinoshita M, Hitomi T, Matsuhashi M, Nakagawa T, Nagamine T, Sawada H, Saiki H, Shibasaki H, Takahashi R, Ikeda A. How does voluntary movement stop resting tremor? Clin Neurophysiol. 2010 Mar 30. [Epub ahead of print]
2. Kawach I and Kondo T. T lymphocytes: Helpers. Encyclopedia of Life Science at www.els.net (Wiley-Blackwell)

和文著作

1. 齋木 英資 歩行障害の診方とパーキンソン病の診断 大阪府内科医会会誌 18(1):34-44, 2009
2. 齋木 英資 パーキンソン病診断のコツと Pitfall 進行性核上性麻痺 Frontiers in Parkinson Disease 3(2):94-9, 2009
3. 小森美華、近藤誉之、田中正美:多発性硬化症におけるミトキサントロン治療. Brain and nerve 61, 575-580, 2009
4. 小森美華、池川雅哉、近藤誉之: 多発性硬化症とプロテオミクス. 神経免疫学 17, 185-191, 2009 米倉由利子、近藤誉之、塚本達雄、松本禎之、武曾恵理: [アフェレシスと希少疾患] CrowpFukase 症候群. 日本アフェレシス学会誌 29, 135-139, 2009
5. 近藤智善、三井良之、金子鋭、尾崎彰彦、松下達生. 臨床医からみたパーキンソン病治療の現状と期待. Pharma Medica、27 巻 9 号 65-70、2009